

一般質問



市の施策を市民にわかりやすく！



誠心会 ● 小林 義典 議員

西庁舎の今後について

問 平成30年度中に行うとしたマネジメント委員会はいつ行つのか。

答 公共施設等マネジメント推進委員会は、12月1日に委員の委嘱を終えたので、第1回目の開催に向けて調整しています。開催については回数を決めず、都度調整します。なお、広報誌や、ホームページで周知を図り公開にて会議を行います。

問 今後、若年層や子育て世代への説明会を行いますか。

答 今後、広報誌や、ホームページ、タウンメールなどを利用して周知に努めます。

問 自動車運転免許証自主返納について

問 高齢者の運転免許証自主返納について市

の考えは。

答 高齢者による交通事故が増加している中、

交通事故を増加している中、

交通事故を減らすことを目的として、自主返納を促しています。

問 運転免許証を自主返納した場合の特典は。

答 満70歳以上の住民登録されている自主返納者にコミュニティバス「めぐるくん」の回数券一冊3千円分を無料交付、草津線複線化促進期成同盟会からIC OCAカード2千円分を無料進呈。滋賀県警では、自主返納された65歳以上の方を対象に自主返納高齢者支援制度があります。

度があります。

運転免許証自主返納者数	
平成25年	59人
平成26年	71人
平成27年	103人
平成28年	91人
平成29年	119人

湖南市運転免許証自主返納支援事業申請者数	
平成25年	47人
平成26年	66人
平成27年	73人
平成28年	67人
平成29年	81人



住民に寄りそうやさしい市政を！



無会派 ● 大島 正秀 議員

問 新設される生活支援コーデイネーターについて、なぜまちづくり協議会が担う必要があるのか。

答 国のガイドラインでは、①地域のニーズと資源の見える化、問題提起②地域組織など多様な主体への協力依頼などの働きかけ③関係者のネットワーク④めざす地域の姿・方針の共有意識の統一⑤生活支援の担い手の育成やサービスの開発⑥ニーズとサービスのマッチングの6つの役割が求められています。コーデイネーター一人が動いて役割を担う事は出来ません。まちづくり協議会や区・自治会・民生委員児童委員・健康推進員・社会福祉事業者や専門職・ボランティアなどで構成される協議体との協働のもとに実現していく計画

です。その為に具体的には、平成30年度、開催した地域で支えあう「まちづくり懇談会」に代わる協議の場をたち上げ、話し合いの実施、訪問による地域の宝さがし、地域の資源リストやマップの作成、生活支援コーデイネーター会議への参加などの活動を行っていく考えです。議員から指摘のありました区長会・自治会・関係団体にも丁寧に説明してまいります。まちづくり協議会においても会長会・センター長会議を通じて丁寧に説明、理解を求めてまいります。

